

# 平成 30 年度 経営 計画

平成 30 年 3 月  
しなの鉄道株式会社

## 経営方針

### — 自ら行動する新しいステージへ —

開業 20 周年を経て、次なる 20 年を展望すると、人口減少・少子高齢化により利用者の減少に直面する中、老朽車両を更新し、これからも安全投資を維持していくためにも、関連事業の強化、コスト削減などに、今までにない規模とスピードで取り組む必要があります。

「第四次中期経営計画」のスタート年である平成 30 年度は、これらの厳しい環境を乗り越えていくために、社員一人ひとりが自ら行動し、地域との連携を図り、「新たな地域鉄道を創造する」気概をもって挑戦します。

## 重 点 施 策

### 安全で安定した 輸送の確保

- **安全を支える人材の育成**
  - ・ 安全を牽引する社員の育成に向けた各職場の代表が参加する合同学習会等の開催
  - ・ 安全推進委員会、安全大会、訓練会等を通じた「安全と安定」に関する全社員の理解の深度化
- **事故・災害等への対応力の強化**
  - ・ 社員自らが考える列車訓練、線路・電気設備などを使用した実践的な訓練の実施
  - ・ 災害情報等の積極的な収集と正確な状況把握による対応と振り返りの実施
- **適切かつ計画的な修繕と設備投資**
  - ・ 老朽度、緊急度に基づく年間計画の策定と必要な更新・修繕の実施
- **老朽化が進む車両の適切な維持管理と計画的な更新**
  - ・ 現有 115 系車両の機器のオーバーホール、機器更新、予備品の確保等による適切な維持管理
  - ・ 平成 31 年度からの車両更新に向けた国、県、沿線自治体等との調整・準備の加速化

### 快適なサービスの 提供

- **サービスを支える人材の育成**
  - ・ サービスアップ委員の育成を通じた会社全体のサービスレベルの向上
- **誰でも気持ち良く利用できる駅づくり**
  - ・ 北長野駅のエレベーター設置に向けた詳細設計及び黒姫駅、古間駅のホーム段差解消工事の実施
  - ・ よりお客様目線に立った自主的な「5 S 活動」の展開
- **新型車両の導入と利便性の向上**
  - ・ 通勤ライナーや車内トイレの導入に向けた運用方法・設備等の調査検討
- **お客さまの立場に立った対応と情報の提供**
  - ・ 「お客さまの声」の収集・分析を通じたサービス改善の積極的展開
  - ・ お困りのお客さまに対する「声かけサポート運動」の積極的展開

### 地域との連携、共 生の更なる強化

- **「駅」を中心としたまちづくりに向けた連携強化**
  - ・ 駅機能の強化を目指す地元自治体等と連携した具体的取組みの推進
- **利用促進に向けた取組みの強化**
  - ・ 沿線自治体等と協働した、沿線企業へのアンケート調査の実施と効果的な利用促進策の検討
- **「軽井沢」から沿線への誘客強化**
  - ・ ワインや農産物など沿線の有力な観光資源をつないだ誘客施策の実施
  - ・ 軽井沢から妙高高原までの超快速ダイヤを活用した季節に合わせた企画列車等の運行
- **「ふるさと納税」制度を通じた連携**
  - ・ 県、沿線自治体に対する観光列車「ろくもん」等当社商品の返礼品への採用促進

### 営業力と収益力 の向上

- **収益強化を推進する体制の構築**
  - ・ 営業課（ろくもんセンター、軽井沢事業推進室）の機能強化による関連事業収益の向上
  - ・ 事業強化に必要な人材配置の推進と必要に応じた外部人材活用の検討
- **遊休土地、施設の積極活用**
  - ・ 「森の小リスクッズステーション」への集客やイベントなどによる付加価値の向上
  - ・ 軽井沢東側遊休地活用の検討をはじめとした駅隣接土地の再評価および活用策の検討
- **観光列車「ろくもん」の更なる強化**
  - ・ 旅行代理店へのアプローチ強化、貸切利用促進、閑散期対策による予約率の向上
  - ・ おもてなし力を磨きつつワイナリーや温泉・ホテルなどと連携した満足度の更なる向上
- **インバウンド需要への対応の強化**
  - ・ 沿線観光協会との連携強化による軽井沢、長野を起点とした利用の促進
  - ・ 台湾鉄道管理局との交流協定を契機とした各種施策実施による台湾観光客の利用の促進
- **新たな視点・手法での収益確保**
  - ・ 信越線開通 130 周年を記念した各種企画・イベントの実施
  - ・ シニア層をターゲットにした貸切電車等による利用の促進
  - ・ パートナーズクラブ（イベント・通販・協賛店）の充実による会員の増強

## 重 点 施 策

### 将来を見据えた経営基盤の確立

- 施設・設備のスリム化と効率化の推進
  - ・ 施設、設備の適正規模化（スリム化）の箇所調査及び施工方法の研究
  - ・ 使用頻度の少ない設備の使用停止及び計画的な廃止に向けた検討
- 保有施設等を最大限活用した長期安定型の収益源の確保
  - ・ 活用可能な土地・施設のリストアップと不動産関連業者との協調による開発促進
- 商品ラインナップの見直し
  - ・ 既存商品の利用状況や収益性の検証、目的を再整理した上でのスクラップ&ビルドの実施
- ダイヤ等の見直し
  - ・ 少子・高齢化や人口減少、車両・施設・設備の延命を考慮したダイヤの検討
- コストの縮減など業務改善の推進
  - ・ 業務改善提案の活用や外注化などによる事務事業の見直しと長期的コストの縮減
- ICカード乗車券の導入に向けた検討
  - ・ 導入効果やコスト面を含めた調査・研究の実施

### 将来を支える人材の育成と人材が育つ組織づくり

- 将来を担う人材の確保・育成
  - ・ 社員の成長と働き甲斐に繋がる人事・給与制度の検討
  - ・ 技術系の人材不足解消に向けた、沿線の学校を中心とした求人活動の強化
- 役割に応じた働きができる人材づくり
  - ・ 階層別研修の実施や人事評価制度（役割基準表）を活用した人材の育成
- 働きやすい職場づくりとワークライフバランスの推進
  - ・ 短時間勤務制度等の拡充に向けた現状と課題の整理及び検討
  - ・ 仕事の優先順位付けや人員の見直しなどによる時間外勤務の縮減
- コンプライアンスの強化
  - ・ 社内規程の整備やコンプライアンス委員会など社内体制の確立と研修の強化

## 平成 30 年 度 予 算

### 1. 損益計画

(単位:百万円 単位未満切捨)

科 目	金 額															
	a				b				c				d			
	予算額	前年額	(a-b) 差額	(a/b) 比率	予算額	前年額	(c-d) 差額	(c/d) 比率	予算額	前年額	(e-f) 差額	(e/f) 比率				
営業収益	旅客運輸収入	3,103	3,131	-27	99.1%	2,402	2,425	-22	99.1%	700	706	-5	99.2%			
	定期外	1,623	1,638	-14	99.1%	1,243	1,255	-11	99.0%	380	382	-2	99.3%			
	通勤定期	839	843	-4	99.5%	655	658	-3	99.5%	184	185	-1	99.4%			
	通学定期	639	648	-9	98.6%	503	511	-7	98.6%	135	137	-1	98.6%			
	鉄道線路使用料	505	523	-17	96.6%	58	69	-10	84.2%	447	454	-7	98.4%			
	運輸雑入	878	794	84	110.6%	696	597	98	116.5%	182	196	-13	92.9%			
	合計	4,487	4,449	38	100.9%	3,157	3,091	65	102.1%	1,330	1,357	-26	98.0%			
営業費用	人件費	1,568	1,521	47	103.1%	1,130	1,086	43	104.0%	437	434	3	100.7%			
	物件費	2,815	2,803	12	100.4%	1,952	1,914	38	102.0%	863	888	-25	97.1%			
	合計	4,384	4,324	59	101.4%	3,083	3,001	82	102.7%	1,300	1,323	-22	98.3%			
営業損益	103	124	-20	83.4%	73	90	-16	81.5%	29	33	-3	88.5%				
営業外収益	44	43	0	101.8%	43	42	1	104.0%	0	1	0	41.6%				
営業外費用	42	42	0	100.2%	27	26	0	100.2%	15	15	0	100.2%				
経常損益	105	125	-19	84.1%	90	105	-15	85.7%	14	19	-4	75.7%				
特別利益	234	519	-284	45.2%	114	342	-228	33.4%	120	176	-56	68.2%				
特別損失	234	473	-238	49.6%	114	308	-193	37.2%	120	165	-44	72.8%				
税引前当期損益	105	171	-65	61.6%	90	140	-50	64.5%	14	30	-15	48.4%				
法人税等	7	25	-17	30.2%	4	16	-11	30.2%	2	9	-6	30.2%				
税引後当期損益	97	145	-47	67.1%	85	124	-38	69.0%	12	21	-9	56.3%				

### 2. 設備投資計画

(単位:百万円 単位未満切捨)

項 目	金 額											
	a			b			c			d		
	事業費	補助金等	(a-b) 当社負担	事業費	補助金等	(c-d) 当社負担	事業費	補助金等	(e-f) 当社負担			
設備関係	668	260	408	374	114	260	293	145	147			
車両関係	26	0	26	26	0	26	0	0	0			
本社関係	25	0	25	25	0	25	0	0	0			
合 計	720	260	459	426	114	312	293	145	147			

### 3. 借入限度額

平成30年度の借入限度額を次のとおりとする。調達方法については、代表取締役に一任する。

設備投資資金 670,000千円

# 損益予算

平成30年度

(単位:千円)

勘定科目(目)	a 上期予算	b 下期予算	c (a+b) 通期予算	d 29年度見込	(c-d) 差額	(c/d) 対前年比
旅客運輸収入	1,627,399	1,476,232	3,103,631	3,131,540	-27,909	99.1%
鉄道線路使用料	205,906	299,538	505,444	523,416	-17,972	96.6%
運輸雑収	466,066	412,643	878,709	794,153	84,556	110.6%
<b>【鉄道事業営業収益】</b>	<b>2,299,371</b>	<b>2,188,413</b>	<b>4,487,784</b>	<b>4,449,109</b>	<b>38,675</b>	<b>100.9%</b>
報酬・給料等	416,316	416,316	832,633	807,096	25,537	103.2%
手当	65,258	65,439	130,697	130,927	-230	99.8%
賞与	130,625	129,767	260,392	257,655	2,737	101.1%
出向者負担金	51,064	51,064	102,128	85,382	16,746	119.6%
退職金	0	23,782	23,782	22,938	843	103.7%
法定・厚生福利費	110,078	109,033	219,111	217,678	1,433	100.7%
<b>【人件費】</b>	<b>773,341</b>	<b>795,401</b>	<b>1,568,742</b>	<b>1,521,677</b>	<b>47,066</b>	<b>103.1%</b>
線路保存費	250,925	276,776	527,700	491,526	36,174	107.4%
電路保存費	56,666	206,364	263,029	219,006	44,023	120.1%
車両保存費	178,355	223,058	401,413	456,986	-55,572	87.8%
運転費	166,877	201,615	368,492	374,889	-6,397	98.3%
運輸費	195,993	176,776	372,768	410,020	-37,252	90.9%
保守管理費	1,951	1,496	3,446	4,106	-660	83.9%
輸送管理費	87,856	69,476	157,332	165,431	-8,100	95.1%
案内宣伝費	14,100	5,502	19,602	15,852	3,750	123.7%
一般管理費	19,713	44,278	63,991	91,449	-27,458	70.0%
諸税	159,260	25,208	184,469	162,144	22,325	113.8%
減価償却費	226,238	226,824	453,062	411,610	41,452	110.1%
<b>【物件費】</b>	<b>1,357,932</b>	<b>1,457,372</b>	<b>2,815,304</b>	<b>2,803,020</b>	<b>12,285</b>	<b>100.4%</b>
<b>【営業費用】</b>	<b>2,131,274</b>	<b>2,252,773</b>	<b>4,384,046</b>	<b>4,324,696</b>	<b>59,350</b>	<b>101.4%</b>
<b>【営業損益】</b>	<b>168,097</b>	<b>-64,360</b>	<b>103,738</b>	<b>124,412</b>	<b>-20,675</b>	<b>83.4%</b>
受取利息・割引料	20	20	40	26	14	153.4%
受取配当金	1	0	1	1	0	166.7%
雑収入	370	44,080	44,450	43,685	765	101.8%
<b>【営業外収益】</b>	<b>391</b>	<b>44,100</b>	<b>44,491</b>	<b>43,711</b>	<b>780</b>	<b>101.8%</b>
支払利息	22,278	19,756	42,033	42,196	-163	99.6%
雑支出	250	250	500	250	250	200.0%
<b>【営業外費用】</b>	<b>22,528</b>	<b>20,006</b>	<b>42,533</b>	<b>42,446</b>	<b>87</b>	<b>100.2%</b>
<b>【経常損益】</b>	<b>145,961</b>	<b>-40,265</b>	<b>105,695</b>	<b>125,678</b>	<b>-19,983</b>	<b>84.1%</b>
補助金	3,000	231,869	234,869	518,565	-283,696	45.3%
負担金	0	0	0	801	-801	0.0%
<b>【特別利益】</b>	<b>3,000</b>	<b>231,869</b>	<b>234,869</b>	<b>519,365</b>	<b>-284,496</b>	<b>45.2%</b>
固定資産圧縮損	3,000	231,869	234,869	462,164	-227,295	50.8%
災害損失	0	0	0	11,247	-11,247	0.0%
<b>【特別損失】</b>	<b>3,000</b>	<b>231,869</b>	<b>234,869</b>	<b>473,411</b>	<b>-238,542</b>	<b>49.6%</b>
<b>【税引前当期損益】</b>	<b>145,961</b>	<b>-40,265</b>	<b>105,695</b>	<b>171,632</b>	<b>-65,937</b>	<b>61.6%</b>
法人税等	0	7,779	7,779	25,735	-17,956	30.2%
<b>【税引後当期損益】</b>	<b>145,961</b>	<b>-48,044</b>	<b>97,916</b>	<b>145,897</b>	<b>-47,981</b>	<b>67.1%</b>
前期繰越損益			1,072,811	926,914	145,897	115.7%
当期末処理損益			1,170,727	1,072,811	97,916	109.1%

# 損益予算

平成30年度

【しなの鉄道線】

(単位:千円)

	損益予算						
	勘定科目(目)	a 上期予算	b 下期予算	c (a+b) 通期予算	d 29年度見込	(c-d) 差額	(c/d) 対前年比
	旅客運輸収入	1,273,344	1,129,423	2,402,767	2,425,077	-22,310	99.1%
	鉄道線路使用料	28,229	29,976	58,205	69,088	-10,883	84.2%
	運輸雑収	375,932	320,182	696,114	597,648	98,466	116.5%
	<b>【鉄道事業営業収益】</b>	<b>1,677,505</b>	<b>1,479,581</b>	<b>3,157,086</b>	<b>3,091,813</b>	<b>65,273</b>	<b>102.1%</b>
	<b>【人件費】</b>	<b>557,904</b>	<b>572,959</b>	<b>1,130,863</b>	<b>1,086,944</b>	<b>43,919</b>	<b>104.0%</b>
	線路保存費	154,086	141,975	296,061	281,623	14,438	105.1%
	電路保存費	29,744	131,960	161,704	132,812	28,892	121.8%
	車両保存費	159,630	168,012	327,642	321,498	6,144	101.9%
	運転費	105,562	124,944	230,506	232,922	-2,416	99.0%
	運輸費	114,359	90,662	205,021	260,599	-55,578	78.7%
	保守管理費	1,175	1,113	2,288	2,764	-476	82.8%
	輸送管理費	83,940	67,136	151,076	152,889	-1,813	98.8%
	案内宣伝費	13,686	4,415	18,101	12,422	5,680	145.7%
	一般管理費	13,863	31,139	45,002	62,861	-17,858	71.6%
	諸税	124,618	16,006	140,623	113,550	27,073	123.8%
	減価償却費	187,839	186,388	374,227	340,141	34,085	110.0%
	<b>【物件費】</b>	<b>988,503</b>	<b>963,749</b>	<b>1,952,252</b>	<b>1,914,081</b>	<b>38,171</b>	<b>102.0%</b>
	<b>【営業費用】</b>	<b>1,546,407</b>	<b>1,536,708</b>	<b>3,083,115</b>	<b>3,001,025</b>	<b>82,090</b>	<b>102.7%</b>
	<b>【営業損益】</b>	<b>131,098</b>	<b>-57,127</b>	<b>73,971</b>	<b>90,787</b>	<b>-16,817</b>	<b>81.5%</b>
	営業外収益	249	43,594	43,842	42,154	1,688	104.0%
	営業外費用	14,322	12,718	27,040	26,985	56	100.2%
	<b>【経常損益】</b>	<b>117,024</b>	<b>-26,252</b>	<b>90,772</b>	<b>105,956</b>	<b>-15,184</b>	<b>85.7%</b>
	特別利益	0	114,454	114,454	342,900	-228,446	33.4%
	特別損失	0	114,454	114,454	308,067	-193,613	37.2%
	<b>【税引前当期損益】</b>	<b>117,024</b>	<b>-26,252</b>	<b>90,772</b>	<b>140,789</b>	<b>-50,017</b>	<b>64.5%</b>
	法人税等	0	4,945	4,945	16,361	-11,415	30.2%
	<b>【税引後当期損益】</b>	<b>117,024</b>	<b>-31,197</b>	<b>85,827</b>	<b>124,428</b>	<b>-38,601</b>	<b>69.0%</b>

【北しなの線】

(単位:千円)

	損益予算						
	勘定科目(目)	a 上期予算	b 下期予算	c (a+b) 通期予算	d 29年度見込	(c-d) 差額	(c/d) 対前年比
	旅客運輸収入	354,055	346,809	700,864	706,463	-5,599	99.2%
	鉄道線路使用料	177,677	269,562	447,239	454,328	-7,089	98.4%
	運輸雑収	90,135	92,461	182,595	196,505	-13,910	92.9%
	<b>【鉄道事業営業収益】</b>	<b>621,867</b>	<b>708,832</b>	<b>1,330,698</b>	<b>1,357,296</b>	<b>-26,597</b>	<b>98.0%</b>
	<b>【人件費】</b>	<b>215,437</b>	<b>222,441</b>	<b>437,879</b>	<b>434,732</b>	<b>3,146</b>	<b>100.7%</b>
	線路保存費	96,839	134,801	231,639	209,903	21,736	110.4%
	電路保存費	26,922	74,404	101,325	86,194	15,131	117.6%
	車両保存費	18,725	55,046	73,771	135,487	-61,716	54.4%
	運転費	61,315	76,671	137,986	141,968	-3,982	97.2%
	運輸費	81,634	86,114	167,747	149,421	18,326	112.3%
	保守管理費	775	383	1,158	1,342	-183	86.3%
	輸送管理費	3,916	2,340	6,256	12,542	-6,286	49.9%
	案内宣伝費	414	1,087	1,501	3,431	-1,930	43.7%
	一般管理費	5,850	13,139	18,989	28,588	-9,600	66.4%
	諸税	34,642	9,203	43,845	48,593	-4,748	90.2%
	減価償却費	38,399	40,436	78,835	71,469	7,366	110.3%
	<b>【物件費】</b>	<b>369,430</b>	<b>493,623</b>	<b>863,053</b>	<b>888,939</b>	<b>-25,886</b>	<b>97.1%</b>
	<b>【営業費用】</b>	<b>584,867</b>	<b>716,065</b>	<b>1,300,931</b>	<b>1,323,671</b>	<b>-22,739</b>	<b>98.3%</b>
	<b>【営業損益】</b>	<b>37,000</b>	<b>-7,233</b>	<b>29,767</b>	<b>33,625</b>	<b>-3,858</b>	<b>88.5%</b>
	営業外収益	142	506	649	1,558	-909	41.6%
	営業外費用	8,206	7,287	15,493	15,461	32	100.2%
	<b>【経常損益】</b>	<b>28,936</b>	<b>-14,014</b>	<b>14,923</b>	<b>19,721</b>	<b>-4,799</b>	<b>75.7%</b>
	特別利益	3,000	117,415	120,415	176,466	-56,051	68.2%
	特別損失	3,000	117,415	120,415	165,344	-44,929	72.8%
	<b>【税引前当期損益】</b>	<b>28,936</b>	<b>-14,014</b>	<b>14,923</b>	<b>30,843</b>	<b>-15,920</b>	<b>48.4%</b>
	法人税等	0	2,834	2,834	9,374	-6,541	30.2%
	<b>【税引後当期損益】</b>	<b>28,936</b>	<b>-16,847</b>	<b>12,089</b>	<b>21,469</b>	<b>-9,380</b>	<b>56.3%</b>

平成30年度

## 設備投資予算

【しなの鉄道線】

(単位:千円)

区分	件名	A 予算額	B 補助金 負担金	C 当社 負担額 (A-B)	完了 予定	備考	
設 備 投 資 予 算 計 画	軌道	マルチプルタイタンパー(MTT)購入	100,000	66,666	33,334	2月	補助金2/3(国・県・沿線市町)
	軌道	バラストスイーパー購入	15,000	10,000	5,000	2月	補助金2/3(国・県・沿線市町)
	軌道	PCマクラギバンドロー化(信濃追分～御代田)	38,830	12,943	25,887	1月	補助金1/3(国)
	軌道	千曲川橋梁鋼直結軌道50Nレール同種交換その他工事	19,540	6,513	13,027	12月	補助金1/3(国)
	軌道	分岐器床板ボールベアリング工事	7,318	0	7,318	12月	屋代駅構内
	軌道	防草シート敷設	5,000	0	5,000	2月	平原～小諸、信濃国分寺～上田
	軌道	管内用地改測図作成作業	6,000	0	6,000	2月	小諸・上田構内
	軌道	合 計	191,688	96,122	95,566		
	土木	土木積算ソフト更新	1,600	0	1,600	5月	
	土木	空調設備更新(運転保安施設)	2,300	0	2,300	7月	上田継電器室
	土木	停車場平面図作成	7,300	0	7,300	2月	軽井沢～篠ノ井(停車場)査定により減額
	土木	合 計	11,200	0	11,200		
	電力	小諸・大屋SS直列リアクトル更新工事	54,000	0	54,000	3月	
	電力	小諸変電所蓄電池制御盤取替工事	3,500	0	3,500	12月	
	電力	高圧変圧器取替工事	6,400	0	6,400	1月	
	電力	上田構内高圧受電設備更新工事	13,000	0	13,000	3月	
	電力	高圧配電線路区分開閉器更新工事	3,500	0	3,500	12月	
	電力	合 計	80,400	0	80,400		
	信通	搬送装置更新	50,000	0	50,000	3月	
	信通	列車無線基地局更新	9,000	3,000	6,000	3月	補助金1/3(国)
	信通	通信電源装置更新	2,600	0	2,600	11月	
信通	分岐器速度照査装置受信器	3,200	0	3,200	10月		
信通	列車無線基地局 予備機購入	1,800	0	1,800	3月		
信通	踏切バックアップ装置	23,000	15,332	7,668	3月	補助金2/3(国・県・沿線市町)	
信通	天神踏切屈折式しゃ断棒及び踏切リレー	200	0	200	10月	予備品購入	
信通	瀬沢踏切電源用ケーブル新設	1,640	0	1,640	11月		
信通	合 計	91,440	18,332	73,108			
車両	車体外板塗装変更(台湾鉄道管理局仕様)	2,500	0	2,500	11月	重要部検査出場に合わせ実施	
車両	ワンマン自動放送ソフト改修	3,500	0	3,500	3月	ダイヤ改正に合わせ実施	
車両	予備品購入	19,000	0	19,000	3月		
運転	屋代高校前駅ホームアラームベルの設置	1,200	0	1,200	1月		
運転	指差喚呼効果体感ソフト	138	0	138	4月		
車両・運転	合 計	26,338	0	26,338			
戸倉駅	戸倉駅舎入口大型アコーディオン門扉新設	782	0	782	5月		
戸倉駅	戸倉駅運転係用車両確認カメラ	389	0	389	4月		
上田駅	上田駅下り乗降場滑り止め新設工事	414	0	414	5月		
上田駅	上田駅構内転落防止柵改良工事	3,914	0	3,914	6月	広告看板として検討	
営業課	TID設置(お客様センター)	1,200	0	1,200	6月		
営業・駅	合 計	6,699	0	6,699			
審査	帳票類・乗車券面西暦化対応	16,900	0	16,900	3月		
総務・企画	合 計	16,900	0	16,900			
しなの鉄道線合計		424,665	114,454	310,211			

## 設備投資予算

【北しなの線】

(単位：千円)

区分	件名	A 予算額	B 補助金 負担金	C 当社 負担額 (A-B)	完了 予定	備考
北・軌道	木マクラギPC化	43,875	29,250	14,625	11月	補助金2/3(国・県・沿線市町)
北・軌道	合 計	43,875	29,250	14,625		
北・土木	古間駅・黒姫駅ホームこう上	106,000	70,666	35,334	12月	補助金2/3(国・県・沿線市町)
北・土木	北長野駅エレベーター新設詳細設計	30,000	20,000	10,000	10月	補助金2/3(国・沿線市町)・H31竣工
北・土木	北長野駅ホームこう上(測量・設計)	8,000	5,332	2,668	10月	補助金2/3(国・県・沿線市町)
北・土木	北しなの線管内融雪装置更新	9,000	3,000	6,000	7月	補助金1/3(国)
北・土木	豊野・牟礼間伏び改良	3,000	0	3,000	12月	
北・土木	牟礼・古間間伏び改良	32,000	0	32,000	3月	
北・土木	合 計	188,000	98,998	89,002		
北・電力	電車線支持物建替工事	37,500	12,500	25,000	1月	補助金1/3(国)
北・電力	電気融雪器更新工事	5,000	1,666	3,334	12月	補助金1/3(国)
北・電力	高圧変圧器取替工事	3,600	0	3,600	12月	
北・電力	合 計	46,100	14,166	31,934		
北・信通	踏切制御器取替 1/F化	2,550	0	2,550	11月	
北・信通	列車無線基地局取替	10,000	3,333	6,667	3月	補助金1/3(国)
北・信通	新スプリアス対応無線式保守用車用踏切制御装置取替	3,000	0	3,000	9月	
北・信通	合 計	15,550	3,333	12,217		
豊野駅	除雪機更新	1,600	0	1,600	10月	中型・小型1台ずつ
北・営業課	黒姫駅駅名看板(駅正面)新設	300	0	300		
営業・駅	合 計	1,900	0	1,900		
<b>北 し の 線 合 計</b>		295,425	145,747	149,678		

<b>会 社 総 合 計</b>	720,090	260,201	459,889		
------------------	---------	---------	---------	--	--

【リース】

設備投資予算計画	区分	件名	F 調整後 総額 (D-E)	G 補助金 負担金	H 当社 負担額 (F-G)	完了 予定	備考
	リース	技術センター軌道係バン(バトカー・更新)	3,500	0	3,500	5月	
	リース	技術センター土木係軽バン(3224再)	700	0	700	6月	
	リース	上田駅バン(更新)	2,000	0	2,000	9月	
	リース	営業課カロラー(6366再)	800	0	800	11月	
	リース	本社複合機(更新)1台・モノクロ	1,036	0	1,036	7月	
	リース	各駅複合機(再)屋代・戸倉・小諸・上田・軽井沢	500	0	500	7月	
	リース	合 計	8,536	0	8,536		

# 資金予算

平成30年度

(単位:百万円 単位未満切捨)

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<b>a.【前月繰越】</b>	1,192	738	765	883	916	939	1,067	1,196	1,017	870	645	466
旅客運輸収入	408	328	280	309	302	324	378	289	274	283	211	315
現金収入	342	195	162	238	239	235	296	181	168	215	147	228
未収運賃回収	66	133	118	71	62	88	82	107	106	67	64	87
鉄道線路使用料	97	0	0	124	0	0	211	0	0	0	0	107
運輸雑収	63	66	80	104	72	71	107	65	64	99	57	55
当月入金	33	35	39	36	40	39	40	34	32	24	24	24
翌月入金	11	11	23	49	13	13	47	12	13	56	14	11
翌々月入金	18	20	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
<b>【営業収入小計】</b>	569	395	361	538	374	396	698	354	340	383	269	477
営業外収益	40	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
受取利息・配当金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収入	40	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
特別利益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>1.【営業活動収入合計】</b>	610	395	361	538	374	396	698	354	341	383	269	480
補助金収入	510	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
部外工事収入	31	0	0	0	0	14	0	0	134	0	0	0
固定資産売却益収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>2.【投資活動収入合計】</b>	542	0	0	0	0	14	0	0	134	0	0	0
短期借入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長期借入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100
その他収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>3.【財務活動収入合計】</b>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100
<b>b.【収入総計】(1+2+3)</b>	1,152	395	361	538	374	411	698	354	475	383	269	580
人件費	89	113	93	246	125	90	117	103	223	140	102	91
経費	661	126	122	170	109	131	373	178	190	223	136	123
当月支払	18	14	17	11	11	12	14	16	15	15	16	20
翌月支払	637	105	99	149	91	113	351	156	168	202	114	97
翌々月支払	5	6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
損害保険料	0	0	0	3	0	0	2	0	0	0	0	0
固定資産撤去費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>【営業支出小計】</b>	798	287	240	490	268	269	542	360	458	403	286	247
営業外費用	0	10	0	0	10	0	0	10	0	0	9	0
支払利息	0	10	0	0	10	0	0	10	0	0	9	0
雑支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>4.【営業活動支出合計】</b>	798	298	240	490	278	269	542	371	458	403	296	247
設備投資支出	808	0	2	15	3	13	26	93	163	205	83	139
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>5.【投資活動支出合計】</b>	808	0	2	15	3	13	26	93	163	205	83	139
短期借入金返済	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長期借入金返済	0	69	0	0	69	0	0	69	0	0	69	0
その他支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>6.【財務活動支出合計】</b>	0	69	0	0	69	0	0	69	0	0	69	0
<b>c.【支出総計】(4+5+6)</b>	1,607	368	243	505	351	283	568	534	622	608	448	387
<b>d.次月繰越(a+b-c)</b>	738	765	883	916	939	1,067	1,196	1,017	870	645	466	658

# キャッシュフロー予算

平成30年度

(単位:百万円 単位未満切捨)

項目		金額
営業活動	税引前当期利益	105
	減価償却費	453
	その他	-8
	法人税等	-25
	計	524
投資活動	補助金・負担金	260
	設備投資	-720
	計	-459
財務活動	長期借入金 (借入額-返済額)	-177
合計	計	-177
現金及び現金同等物の増減額		-112
前期繰越現金・預金		1,192
次期繰越現金・預金(参考)		1,080

注) この金額は、簡易的な計算(消費税抜き・発生ベース)によるものであり、資金計画とは異なる。